

令和5年7月18日

石巻市議会
議長 安倍 太郎 殿

議会運営委員会
委員長 高橋 憲悦

視察報告書
視察の概要は下記のとおりです。

記

- 1 参加委員 高橋 憲悦 委員長 山口 莊一郎 副委員長
勝又 和宣 委員 千葉 正幸 委員
阿部 浩章 委員 星 雅俊 委員
齋藤 澄子 委員 櫻田 誠子 委員
(欠席委員) 後藤 兼位 委員
(事務局随員1名)
- 2 視察期間 令和5年7月4日(火)から7月6日(木)まで 3日間
- 3 視察先 北海道滝川市、北海道鷹栖町
- 4 視察内容 北海道滝川市
(1) 予算・決算の審査方法について
(2) 複数常任委員会制度について
(3) オンライン委員会の開催について
北海道鷹栖町
(1) 議会の広報広聴活動について
- 5 添付書類 別紙のとおり
- 6 視察に係る経費 691,167円(随員職員の旅費を含む)

1 視察概要

鷹栖町は、北海道のほぼ中央に位置し、北海道第二の都市旭川市に隣接している。町全体は盆地状をなし、中心部を石狩川に注ぐオサラッペ川が北から南へ貫流しており、旭川までの利便性の高さと、豊かな自然に囲まれた住み良い環境にある。町名の由来は、「大きな島（鷹）の棲むところ（巢）」を意味するアイヌ語「チカップニ」であり、意識され「鷹栖」となった。

品質・収穫量とも道内屈指の稲作、付加価値の高いきゅうりの生産など、良質な農産物の供給地帯であり、近年は積極的な企業誘致により、農・商・工一体となった地域複合産業の形成を目指している。旭川鷹栖インター等の開通で札幌圏へのアクセスも容易となった。

鷹栖町議会は10年ほど前から広報広聴活動に力を入れており、中でも議会報や議会開催告知チラシなどは、人目に付く斬新なデザインで全国から注文され、議員研修誌「地方議会人」にも度々紹介されている。

本市議会においても、広報広聴活動を充実させることは、市民に聞かれた議会を目指す上で欠かせない取組であるため、鷹栖町の先駆け取組を学び、今後の参考とする。

(1) 広報紙の作成体制について

■ 2 班体制

委員会には議長を除く11名の議員全員が所属している。議会報作成とそれ以外を担当する班に分けて活動している。1年で担当を交代。班に関わらず委員会への参加は可能である。

委員長、副委員長は全ての委員会に参加している

■ LINE を活用

班ごとにグループを作成し、細かい相談や作業の割り振りなどはLINEを使っている

■ 研修への参加

道内の議会報研修会、自治体広報担当者向けの研修会に主に参加している

■ Twitter への書き込み

主に事務局と担当一人の議員が行っている。このほかに書き込みたいことがある場合は、事務局にメールなどで連絡している

(2) 広報紙に対する市民の反響と効果について

- ・ 傍聴者数は増加したが、議会報告会への参加は変化がなかった。
- ・ 近年メディアに取り上げてもらい大きな反響があった。
- ・ インパクトがあるものでも、続けていくうちに普通になってしまうことが課題である。
- ・ 議会内部が活性化してきたことが、非常に効果が大いと感じている。
- ・ 外部評価が上がることで、議員の気運も高まっている。

(3) 広報紙作成等について

- ・ チラシ編集ソフト種類は、Adobe InDesign を使用している。費用は年額約40万円に対し、公費から半額補助を受けている。
- ・ チラシ作成は、2名で行っている。デザインの発想さえあれば、作成に約10～20時間ほどかけている。議会報の作成時間は、約60時間ほどである。

- ・ チラシの配布方法は、新聞折込で、定例会前に3000世帯に配布している。
- ・ 議会傍聴ガイドブックを作成している。ショウワノート(株)の許可をもらい、学習帳風の表紙を採用している。
- ・ 議員通信簿の導入をし、各議員の一般質問を聞き取りやすさやテーマ設定は適切だったかなど5つの項目について5段階で、傍聴者に評価してもらっている。また、良い質問をした議員をシールで評価するニコちゃんシール制度も取り入れた。

2 所 感

鷹栖町議会では、「開かれた議会」を目指し、議会の情報発信は議員自らの手で行うべきという考えを持ち、広報活動をしている。以前は事務局主導で作っていた議会報をはじめとする議会の発行物について、住民目線を意識し、見せ方や伝え方を議員主導で考えて作成している。ソフト使用とはいえ、デザインの発想までたどり着くには並大抵の努力ではできないと感じた。個人的に、ソフトを使用してみたいと思っている。

議会報の編集方針は、読みやすさ、わかりやすさ、インパクト、正確性の面から定めている。議会告知チラシは、家電チラシ風、中吊り広告風、映画風などをベースに作成しているが、出来栄には、かなり強く引き付けられるインパクトがあった。

議会傍聴ガイドブックも傍聴者の方への心遣いの気持ちが伝わってきた。

3 政策・提言

広報広聴活動を行う上で鷹栖町議会同様に、市民の皆様に「興味を持ってもらう」「理解を深めてもらう」「参加してもらう」を重要視した取組が必要である。

鷹栖町議会レベルのチラシまで作成するハードルは高く、同じことを早急に取り組むことは難しいが、まずはできることを議員一丸となり取り組んでいる姿勢は見習う必要がある。

傍聴ガイドブックの内容は、議会のルールなどを説明するためのもので、Q&A形式にし、言葉遣いなども分かりやすい書き方をしていたことは、本市でも参考にし、具体的な工夫をしていく必要がある。



鷹栖町議会議長挨拶



高橋委員長挨拶

1 視察概要

【予決算特別委員会について】

(1) 予算審査特別委員会の開催から議決までのスケジュール

※滝川市議会議会運営に関する申し合わせ事項より抜粋

ア 第一回定例会質疑標準日程（平常年分）

イ 日程中土・日曜日、祝日を休会とする場合を除く。

第1日＝会期決定・議長報告・請願・行政報告・市政執行方針・予算大綱・予算及び関連議案説明・専決処分報告・補正予算及び関連議案・予算外単独議案

第2日～第6日までは休会

第7日＝市政執行等に対する代表質問等

第8日＝市政執行等に対する代表質問等・予算審査特別委員会設置付託

第9日～第12日＝予算特別委員会

第13日＝予算審査特別委員長報告・追加議案・審査報告・監査報告・例月現金出納検査報告。意見書等・請願・閉会中継続調査等の付議

（本会議4日・休会9日　うち予算委員会4日）

(2) 決算審査特別委員会の開催から議決までのスケジュール

※滝川市議会議会運営に関する申し合わせ事項より抜粋

ア 第三回定例会審議標準日程（平常年分）

イ 日程中土・日曜日、祝日を休会とする場合を除く。

第1日＝会期決定・議長報告・請願・行政報告・専決処分報告・補正予算及び関連議案・予算外単独議案・財政健全化判断比率及び資金不足比率報告・決算大綱説明・監査委員の決算審査報告・決算審査特別委員会設置付託

第1日、第2日＝休会

第4日～第6日＝決算審査特別委員会

第7日＝休会

第8日＝決算審査特別委員長報告・一般質問

第9日＝質疑応答・追加議案・財政援助団体経営状況報告・審査報告・例月現金出納検査報告・意見書等・請願・閉会中継続調査等の付議

（本会議3日・休会6日　うち予算委員会3日）

(3) 予算（決算）審査特別委員会の構成

ア 第1 予算（決算）審査特別委員会

一般会計 … 歳入（市税、地方交付税、国庫支出金、道支出金、寄付金など）

歳出（議会費、総務費、民生費、衛生費、土木費、教育費）

- イ 第2予算(決算)審査特別委員会
 国民健康保険特別会計、公営住宅事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、下水道事業会計、病院事業会計
- (4) 予算(決算)審査特別委員会の日程
- ア 第1予算審査特別委員会
- 1日目＝総括、議会費(1款)、総務費(2款)、消防費、公債費(11款)、諸支出費(12款)、職員費(13款)、予備費(14款)、民生費(3款)、衛生費(4款)
- 2日目＝土木費(8款)、教育費(10款)、労働費(5款)、商工費(7款)、農林業費(6款)
- 3日目＝歳入、市長に対する総括質疑、討論・採決
- 4日目＝予備日
- イ 第2予算審査特別委員会
- 1日目＝病院事業会計、介護保険特別会計、下水道事業会計、公営住宅事業特別会計
- 2日目＝国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、市長に対する総括質疑、討論・採決
- 3日目、4日目＝予備日
- (5) 議事シナリオ
- ア 予算・決算審査特別委員会議事シナリオ(第1・第2共通)(1日目)
- ◎委員長 就任挨拶(副委員長含む)、開会宣言、委員動静(出席・欠席・遅刻・傍聴)について確認、付託事件について確認、審査方法について確認、市長に対する総括質疑について確認、討論について確認、資料要求について確認
- ・付託事件の審査
- ◎委員長 説明院に対して説明を求める、委員に対して質疑の確認、説明院に対して答弁を求める、質疑の留保の確認、質疑の終結、所管入替・休憩・再開
- ◎委員長 散会宣言
- イ 予算・決算審査特別委員会議事シナリオ(第1・第2共通)(2日目・3日目)
- ・付託事件の審査
- ◎委員長 説明員に対して説明を求める、委員に対して質疑の確認、背地名院に対して答弁を求める、質疑の留保の確認、質疑の終結、所管入替・休憩・再開
- ◎委員長 市長に対する総括質疑(ない場合は省略)
- ◎委員 討論、採決、委員長報告の確認、審査終了宣言、市長挨拶、委員長退任あいさつ(副委員長含む)、解散宣言
- (6) 質疑応答
- Q：正副委員長の互選は毎回行うのか？
- A：そのとおり。会派同士で事前にある程度の候補を事前に考えているようで、互選で混乱は生じていない。委員長になると質疑ができないので委員長になりたがる人はいない。
- Q：予決算以外の議案は本会議で即決か？
- A：そのとおり。定例会前の常任委員会で議案が示され、その委員会では事前審査となるため議案への質問はできず、定例会が開会してからの本会議での質疑のみとなる。
- Q：1と2では扱う予算の範囲で差がありすぎることはないか。

A：実際は2の方が短くなってしまふことが多い。審査範囲は会議規則で定められているものではないため、取り扱い範囲の変更は可能であるが、これまでにそのような実績は無い。

Q：特別委員会への市長の出席は？

A：最終日のみに出席し、総括質疑の通告がある場合はそれらに答弁することになる。

Q：質疑の留保とは？

A：当局の答弁では納得できない場合、当日の質疑を留保し、市長の答弁を求める総括質疑につなげていくという仕組み。

(7) 所感及び提言

滝川市では定例会前に常任委員会で議案説明し、質疑は本会議のみというスタイルを取っており、石巻市議会での扱いとは大きく異なっていた。

予決算特別委員会では委員が質疑回数や時間の制限を受けることなく質疑できるという点は好ましい点であると受け止めたが、特別委員会での班割り、もしくは分科会運営などは他の自治体の事例も参考にしながら、石巻市議会に適した手法を更に検討していくべきと感じた。

【複数常任委員会制度について】

(1) 滝川市議会の複数常任委員会について（滝川市議会委員会条例）

- ・ 議長を除く15名の議員が2つの常任委員会に所属している。
- ・ 総務文教常任委員会（10人）、厚生常任委員会（10人）、経済建設常任委員会（10人）

(2) 経緯

○平成30年11月29日 議会運営委員会 議長から提案

H31.4.30より議員定数が18名から16名になるが、議会をさらに活性化をさせること、積極的な、精力的な姿勢を市民に思っただけの常任委員会の構成にしたいと考えていることから、議長は常任委員会に所属せず、15名の議員が2つの常任委員会に所属し、10名の常任委員会を3委員会構成で行ってはどうかという提案があり各会派に持ち帰り、議会運営委員会で議論することとなった。

○平成30年12月12日 議会運営委員会

議長から提案があった、議長を除く15名の議員が2委員会に所属をし、10名ずつという案に全会派が賛成。翌年の第1定例会に滝川市議会委員会条例の一部を改正する条例案が上程することを確認した。

○平成31年2月26日 議会運営委員会

滝川市議会委員会条例の一部を改正する条例について上程することを確認。

○平成31年3月19日 第1回定例会本会議

滝川市議会委員会条例の一部を改正する条例について上程し、可決。

(3) メリットとデメリット

[メリット]

- ・ 広範囲な情報や知識を有することができる。
- ・ 希望する常任委員会に所属しやすくなった。
- ・ 委員会を同時刻に開催をしないため、所属しない委員会を傍聴することができる。

[デメリット]

- ・ 複数の常任委員会に所属することで、負担が大きくなる。

(4) 質疑応答

Q：複数常任委員会を取り入れるというアイデアは当時の議長の単独提案か？

A：恐らく当時の議長周辺では議員定数が18→15へ削減されるにあたって議員同士で意見交換がなされたのではないかと推察する。

Q：当局にとって財政的なデメリットとは？

A：行政視察にかかる費用が議長を除く議員15名に対し、10人×3常任委員会＝30人分掛かってしまう。

(5) 所感及び提言

複数常任委員会の導入については、石巻市議会の議会改革推進会議でも検討がなされた結果、議会日程の長期化や視察行程の重複、どのような場合に複数所属が可能なのか等、複雑な課題が多すぎることから導入は時期尚早であり、今後議員定数が減少していった場合に併せて検討していくという考えに至った経過がある。滝川市においても議員定数減のタイミングでの検討がなされており、やはり石巻市議会においても今後の動向に注視していくという段階にとどまるべきと感じた。

【オンライン委員会の開催について】

リモート（オンライン）委員会を初めて行ったのは、令和2年度（R3.3）の予算審査特別委員会、その後は、令和3年度の決算審査特別委員会と予算審査特別委員会、令和4年度の決算審査特別委員会と予算審査特別委員会でリモート（オンライン）方式で行った。

(1) リモート（オンライン）委員会の開催に至る経緯

令和2年度より新型コロナウイルスの感染防止対策という観点から、市長部局では予算協議等においてリモート（オンライン）方式を取り入れており、今後も市役所内部では不足のパソコンを購入しながらリモート（オンライン）方式で会議を行っていく方針が示された。これに併せて議会の委員会でもリモート（オンライン）方式ができないのかとの話が出始めた。

○R2.11.20 会派代表者会議

市職員・議員の感染防止対策という観点から、リモート（オンライン）方式で予算審査特別委員会を開催することを確認した。

○R3.02.24 議会運営委員会

第1予算審査特別委員会はリモート（オンライン）方式、第2予算審査特別委員会は従来の対面方式とすることを確認した。

(2) リモート（オンライン）委員会の開催状況

- ・ 第1決算審査特別委員会（一般会計）9月開催
今まで2回開催した（R3.9 R4.9）
- ・ 第1予算審査特別委員会（一般会計）3月開催
今まで3回開催した（R3.3 R4.3 R5.3）

(3) リモート（オンライン）委員会の内容

- ・ 予算審査特別委員会（R5.3.13～3.15）

- ・ 第1 予算審査特別委員会（第二・第三委員会室、301・302 会議室、401 会議室、601 会議室・602 会議室）

※ 第二・第三委員会室をメイン会場、他の会場をサブ会場とし、メイン会場とサブ会場をリモート方式により委員会を行った。

- ・ 第1 決算審査特別委員会（第二・第三委員会室、301・302 会議室、601 会議室・602 会議室、大会議室）

※ 第二・第三委員会室をメイン会場、他の会場をサブ会場とし、メイン会場とサブ会場をリモート方式により委員会を行った。

(4) 成 果

- ・ 会場を分散させたことにより、予算・決算審査特別委員の開催に伴う新型コロナウイルスの感染者は議員・職員（説明員）ともに発生していない。
- ・ 会場を分散させることにより、発言をしていない会場に次の順番を待つ説明員が待機することができるため、進行がスムーズに行われた。
- ・ 議員・職員（説明員）ともに徐々にリモート（オンライン）委員会に慣れていった。
- ・ リモート（オンライン）方式による備品（ノートPC、ディスプレイ）は、予算・決算審査特別委員会以外の他会議でも活用され、また他部局に貸出も行っており、有効活用されている。

(5) 課 題

- ・ メイン会場とサブ会場から、お互いの声が聞きにくいとの声があった。
- ・ マイン会場のマイクからの音がサブ会場では聞き取りにくい。
- ・ サブ会場のマイクスピーカーからの音がメイン会場では聞こえなかったり、割れたりして聞こえにくいとの声があった。また、サブ会場同士ではお互いの音がよく聞こえているとの声もあった。
 - ※ マイクスイッチの切り忘れにより、スピーカーの音が聞こえない。
 - ※ マスクをしながらの説明、質問、答弁であったので、議員、職員（説明員）ともに音が聞き取りにくい。
 - ※ 資料の持ち方によりスピーカーに届く声を遮ってしまい音が聞き取りにくい。
- ・ 会場設営や備品設置の事前準備に丸一日（前日）要してしまう。

(6) 今後について

令和5年度より、リモート（オンライン）方式ではなく、従来の対面方式で委員会を行う予定。

(7) 質疑応答

Q：会議システムは？

A：Webex。市役所側のセキュリティポリシーを遵守する観点から、市役所で既に導入済のシステムを導入した。導入コストは35,000円。回線接続数や時間制限は無く使えている。

Q：マイク音声の会議システムへの連携は有線接続か。

A：そのとおり。

(8) 所感及び提言

滝川市でのオンライン委員会は、同じ建屋の別会議室を繋ぐというものであり、石巻市議会が検討しているリモート会議とは若干様相が異なった。会議システムに掛かる費用はイニ

シャルコストのみであり、ランニングコストは不要とのことであったため、石巻市議会議改革推進会議で検討している Google Meet との仕様比較をする価値はあるのではないかと感じた。また、やはり音声の聞き取りづらさは残るようであり、今後も他自治体での先進事例を研究していく必要がある。



滝川市議会議長挨拶



高橋委員長挨拶



オンライン委員会の様子

お問い合わせ

石巻市議会事務局 議事調査係
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号
Tel : 0225-95-5080 (議会直通)
Fax : 0225-96-2274
Mail : assesc@city.ishinomaki.lg.jp